

区長さんの悩み・相談

ゴミのポイ捨て
捨て猫・野良猫
対策

うるま市新赤道区自治会

さくら猫無料不妊手術 TNR・地域猫活動

赤道小学校生徒の皆さんこんにちは。

今日は、新赤道公民館より「さくら猫無料不妊手術 TNR・地域猫活動」のお話をしたいと思います。

新赤道公民館では令和3年8月より地域に住むノラ猫問題に目を向けて取り組みを始めました。現在令和5年9月時点、96匹のノラ猫が不妊手術を終え地域猫として存在しています。

始めたきっかけはある時、区内の民家に親猫と生まれたばかりの子猫がいるとの連絡があり、確認しに行きましたが、人が来ると親猫が警戒して子猫から離れてしまいました。しばらく様子を見ようという事になりましたが、数日後5匹いた子猫たちはいなくなり、母猫は一匹の子猫を必死に守って公民館の近くに隠れていました。2匹の親猫と子猫を見た時、他の子猫はどうなったのか、不安になりました。野生で生きる小動物は、カラスに襲われたり、ハブに食べられたり、交通事故で死んでしまう事も多くあります。その時何も出来なかった事を後悔しました。犬や猫は昔から人と一番近くに暮らしてきた動物です。現在でも飼い猫や飼犬は守られています。しかし、野生で生きるノラ猫達は過酷な環境で生きていくしかありません。

元々は人間が捨てた事でノラ猫、野良犬になってしまったのです。皆さんも動物を飼う時は、可愛いだけで判断せずに、家族として最後まで責任を持って可愛がりましょう。

活動を始めて、色々と大変な事もありました。ノラ猫に餌をあげる事に反対される方、糞尿に関する苦情、繁殖期の鳴き声の騒音、マーキングの臭い等、取組当初はとても大変でした。自治会としては、地域猫活動を通して、色々な問題が少しでも解決できる様、取組をおこなっています。餌やりをすることで、生ごみを漁る事が減り、手術をする事で、繁殖期の鳴き声も減り、マーキングの臭いも無くなります。定期的な餌やりをしながら食べ残しは片付け、ノラ猫の糞を見かけたら片付ける様にしています。時間も手間もお金も掛かります。しかし私達には問題が起きれば考え、行動する力があります。これから皆さんが協力してくれるアルミ缶も地域猫活動に活用されます。

職員を含め区内のボランティアの方、地域住民の協力も得ながら日々活動を続けています。

これから未来を歩いていく皆さん、誰にでも優しい気持ちを持ち続けて下さい。

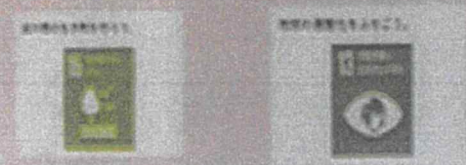
優しい気持ちを持ち続ける事で、皆が幸せになります。

皆さんも近くで地域に住むノラ猫を見かけたら、静かに見守って下さい。

地球があぶない 名前 ()

自然を守るために、自分ができるところを
考えよう

リサイクルして森林破壊をできる
だけ防ぐ



ゴミ捨てをしない



既習知・経験知
とのつながり



考え・思いを
SDGsの
様々な目標と
つなげようと
している

アルミ缶を集めて捨て猫の保護に
つなげる。



食べ物を無駄にしない





学校と地域が一つになって伝統のバトンをつなぐ

4 質の高い教育を
みんなに



世界中（せかいじゅう）の人々
（ひとびと）が学校（がっこう）で
安心（あんしん）して業（たの）
しく勉強（べんまょう）ができる
ようにしよう。



地域の皆さんがいてくれて安心